

## 2つの泰山会についてのご説明

泰山会 67 期会長 山里 哲史

泰山会は、東京学芸大学附属高等学校(本校)の教育活動を支援するための組織です。大学から提供される資金だけでは教育環境を十分に整備できないことから、保護者・教員などが協力して本校の教育環境整備を支援することを目的に設立され、永い伝統を持ちます。

泰山会には2つの組織があります。

1つは、「PTA泰山会」で、在校生保護者と本校の現職教員によって構成されています。もう1つは、「後援会泰山会」で、正式には「一般社団法人東京学芸大学附属高等学校後援会泰山会」といい、後援会泰山会の目的に賛同して入会した在校生保護者で構成される法人です。PTAと後援会の違いの1つは、現職教員がメンバーに入っているか否かにあります。

PTA泰山会のほかに、後援会泰山会を設けた理由は次のとおりです。平成 12 年に、文部省(現文部科学省)から、「PTAは、附属学校の教官が構成員となっているため、学校の寄附を目的とする会費の徴収・募金活動を行うことは適当でない。附属学校の教育の振興・充実等を目的とした寄附をする後援会は、保護者などが自発的に加入する団体であること」という強い指導がありました。これを受けて、同年 11 月に本校およびPTA泰山会と密接に連携を保ち、本校の教育への後援等を目的とする後援会泰山会が発足し、これ以降、寄附金による教育の推進助成、生徒のクラブ活動・校外行事の援助等は後援会泰山会が担うことになりました。

現在、本校のPTA泰山会は法人格を持たない任意団体であり、後援会泰山会は平成 23 年に一般社団法人として法人登記を行い、妙高寮及びこれに関連する資産(土地、建物、車両など)は後援会泰山会が保有しています。

2つの泰山会を簡単に整理すると、下の表のようになります。

### 2つの泰山会

泰山会組織	組織の目的	会員
<b>PTA</b> 泰山会 (任意団体)	先生・保護者が協力して、生徒の健全な成長をはかる	現職教員 保護者
<b>後援会</b> 泰山会 (一般社団法人)	本校の教育の振興・充実等を目的とした支援・援助	保護者 卒業生、旧職員などの 特別会員